

環境科学科の学生と共に“農業用ため池の水質改善に向けた調査研究”を実施しています。

平成30年度の地域協同研究プロジェクト事業として世羅町との協同で世羅町津口にある農業用ため池の水質改善に向けた調査研究を本学学生と共に実施しています。

世羅町では、地域からの問題提起に基づき農業用ため池の水質改善について対応が求められ対応を行って来ています。しかしながら、限られた財源の中で行えることには限界があることから、より良い改善策を模索されています。このことから、包括協定を結んでいる本学との協同事業として現状把握と改善策の提案に向けた協同研究事業を平成30年度から始めました。

本年度は、毎月一度の水質調査を実施し、対象となる農業用ため池の水質の現状を把握しています。現地の水質調査は学生と共に実施していますが、“ため池の現状評価”は今年の結果だけでは結論付けられませんが、次年度以降に報告する予定です。また、それらの結果を踏まえた水質改善策も次年度からの実験研究で学生と共に検討して行くこととなります。



採水風景



水温や pH 等の現地測定風景